第一〇二号

年始挨拶

新しい

年も寄り添う心で

社会福祉法人 せらぴ後援会

就労支援センターまろにえ

0144-75-2328

行一

研修しクで得たものを

が出来ました。参加者からは一日

日常に生かして

一発

見学研修レクを実施、

14名のメン

昨年11月17日(金)に防災体験と

と感想が寄せられました。

全員が役割を担って<br />

を日常に生かしたい、楽しかった で様々な体験をし、研修したこと

ーが参加しました。

**厄年会 大盛況に終わる** 

社会福祉法人せらび後援会会長 名越晴男 設で培ったものが着実に力を たのではないでしょうか。 ていることをご確認いただけ つけて評価の高い商品が出来 アルドールの美味しい天然

> れを体験。震度5位からは立ってい なえーるでは震度1~7までの揺

を借りて忘年会をしました!

12月26日に千歳市社協の部屋

感地域生活支援センター

今回参加者には料理をするか、

千歳市防災学習交流センターそ

かない煙の中で避難行動を体験し、 感。煙避難体験では、全く視界のき るのが難しいと、揺れの強さを実

「本当に何も見えない、出口を探す

した。

員で24名の賑やかな会となり

らかをお願いしていましたが、全 余興や一言など発表するか、どち

だきたいと存じます。 ただき応援の輪を広げていた 酵母のパンやスノードロップ の和風パスタ、まろにえの手 :り弁当など、是非ご賞味い

因を学習し、皆さん真剣に説明を聞

らの発火現象を見ながら、火災の原 防実験コーナーでは、コンセントか 安と恐怖を味わいました。その他予 のに苦労した。」とこの日一番の不

番のビンゴゲー

ムの他、グル

プ

対抗イントロクイズなどもしまし

ギター演奏など披露してくれ、定

余興ではリコーダー、

三味線

いていました。

理解とご支援を賜りありがと 援会」の活動に対し特段のご

うございます。

慶び申し上げます。

会員皆さまには「せらび後

なられたことと存じ心よりお

新年をご健勝にてお迎えに

所存であります。 を目指し法人を後援していく 本年も皆さまの力強いサポ トの下、活動の充実・発展 

プラザホテルのバイキングで、おい

が入って隣に答えが聞こえてしま

ルから演歌まで幅広い出題に、 た。イントロクイズでは、アイド

熱

場所を移動し、昼食は、クラウン

しくいただきました。

で昨年十二月、アルド

ールの

クリスマス人気商品でありま

「シュトーレン」を贈呈さ

頃のご支援に対する感謝の心 員皆さまに初の試みとし、 は順調に展開されており、

会 日

法人の各施設における活動

驚き、案内の方に多くの質問をしな

のお店にお願いしたオードブルと ツポンチなど皆で作った物と近所

で満腹になったようでした。

を行い、敷地の広さや設備の凄さに

最後は、苫東石油備蓄基地の見学

も炊き込みご飯、サラダ、フルー う程盛り上がっていました。料理

せていただきました。

このように「せらぴ」の施

より良い支援を目指して 菅原雅夫 協力をお願い申し上げますと を目指したいと思っております。 しては、より一層のご支援、ご 会員のみなさま方におかれま

お願いいたします。

ますので、本年もどうぞよろしく がら見て回り、積極的に楽しむこと

社会福祉法人

せらび

### 技術の向上と たし新年のご挨拶と致します。 外部受注に期待

tでは、昨年からカッティング 就労支援センターomnet 就労支援センターOm-ne

結果、 始めました。デザインの作成か と思います。 し、自信につながっているもの シートとラベルシール印刷を ら貼り付けまで、日々の努力の メンバーの技術も向上

迎えられたことと存じ心から かれましては、健やかに新春を

お慶び申し上げます。

昨年中は、当法人に対しまし

うございます。

会員の皆様にお

新年、明けましておめでと

得ています。これを励みに今年 年から外部にも販売し、好評を タログ等の印刷も承っており をはじめ、 もメンバー、 って前進したいと思います。 引き続きホームページ制作 オリジナルカレンダ 名刺、 職員共々目標を持 ポスター、 ーは今 力

方々が希望する生き方に少し 生活を営み、かつ、利用者の ある地域社会の中で安心して

を賜り心から感謝とお礼を申

一方ならぬご支援、ご協力

し上げます。

本年も、

当法人の運営理念で

でも寄り添うことができるよ

職員一同が支え合い思いや

に満ちた温もりのある支援

# 苫小牧地域生活支援センター 大型レクリエーション

共に、ご健康ご多幸をお祈りい

ます。 型レクリエーションとなってい 新年会は、センター毎年恒例の大 12月のクリスマス会と1月の

が楽しめるゲームの企画や調理 配慮や新たなアイディア等、 力して進めていく中で、細やかな など、準備から後片付けまでを協 参加してもらっています。皆さん 企画運営をするスタッフの人手 ています。センターが矢代町に移 タッフが毎回力を入れて企画し っています。 るピアヘルパーに大型レクリエ から、生活支援業務を委託してい も必要となってきました。今年度 ってから参加人数が増えてきて、 ヘルパーから多くの刺激をも 食事のメニューや余興など、 ションの運営スタッフとして ピア

## 」支援有難うござい ます

会費を納めていただいた方々 日~平成3年1月2日) だきます。(平成29年11月2 協力に感謝し、報告させていた です。皆様の温かいご支援、 法人、施設、後援会への寄付と \_\_\_

#### $\nabla$ 法人寄付

王子看護学校様

北海道コカコーラボ 物品寄付 トリング

様

 $\nabla$ 

協力、 平 成 年会費は左記の通りです。 団体会費 個人会費 お願い致します。 29年度の会費納入にご  $\Box$ — 口 二万円 五千円

